



かがやく 150 周年 こから来へどび立 平和 希望 努力の 小原田っ子 「平和 希望 努力」小原田小だより

令和6年度 No.39
令和6年12月6日
郡山市立小原田小学校
文責 校長 佐久間誠

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



早いもので、もう12月。あっという間に令和6年も終わりになります。年末、そして2学期末という区切りのこの時期に、「できるようになったこと」と「できるようにしていきたいこと」を子どもたちが意識できるように工夫して、まとめの指導を行っています。特に、『「相手を」大切に』する小原田っ子』『「自分から」守る小原田っ子』に力を入れています。ご家庭でも話題にさせていただけたら幸いです。

「相手を」大切に『する小原田っ子』

学校は、学習する場であるとともに、集団生活をととして人間関係を育む場です。人間関係を育んでいく際、「相手意識」をもつことができるように、子どもたちの発達段階や学年・学級の実態に合わせて話をしています。1回の指導でできるようになるような簡単なことではありません。道徳科の時間に考える・気付く経験を重ねたり、様々な場で繰り返し指導を行ったりしながら、子どもたちの心に響くように取り組んでいきたいと考えています。

○ きもちのよいあいさつができるように

気持ちよく生活できるようにあいさつを大切にしようと、生活委員会の子どもたちが、朝に昇降口であいさつ運動を行っています。あいさつすることで、気持ちよく一日のスタートを切ることができるように、粘り強く取り組んでいます。



○ 相手の気持ちを考えた言葉の使い方ができるように

「ちくちく言葉」「ふわふわ言葉」という言葉を知っているでしょうか。「ちくちく言葉」とは、相手の気分を害する言葉、「ふわふわ言葉」とは相手の心を癒したり温かい気持ちにさせたりする言葉のことです。小学生に分かりやすい言葉なので、学校では積極的にこの二つの言葉を使っています。

毎日のように、言葉によるトラブルは発生しています。トラブルが発生した時、友達はどんな気持ちになったか、自分が使われたらどんな気持ちになるかをお互い考えることができるようにしています。



○ 自他のものを大切にできるように

自分のものを大切にすることを育てていくこととともに、友達のものも大切にすることを育てたいと考えています。多くの小学校で、言葉によるトラブルとともに、「ものを隠した・隠された」というトラブルも数多く発生し、大きな問題となっている状況です。

本校でも、「靴を隠した・隠された」というトラブルが起っています。そこで、隠された友達の気持ちを考えること＝『「相手を」大切に』することに力を入れて指導しています。相手がどんな気持ちになるかについて、学級や学年で指導したり、生徒指導部から学校全体に呼びかけたりして、相手の気持ちを想像したり、相手を大切にしたりできるように繰り返し話していきます。



集団生活の中で発生する様々なトラブルに対し、学級や学年で繰り返し話をするとともに、生徒指導部でも指導を行いながら、「相手を」大切に『する小原田っ子』を育てていきたいと思ひます。ご家庭でお気付きのことや気になることがありましたら、ご連絡いただければ幸いです。

「自分から」守る小原田っ子

規則やマナーを守ることを大切さについて繰り返し話をしていますが、特に長い休みの前に話しているのは、「自分の命は自分で守る」ことです。そのために、きまりを確認する場を設けるようにしています。

○ 交通ルールを守って登下校する、歩行する

道路の歩行の仕方特に心配されるのは、下校時や休みの日の歩行の仕方です。

子どもたちは無意識のうちに車道に出てしまったり、早く友達のところに行きたいからと横断歩道のないところを横断したり、周りをよく見ないで突然に飛び出したりすることが多くあります。

今週は、1年担任が子どもたちの下校に付き添って、歩道の歩き方や横断歩道で注意することを確認しました。子どもたちが交通事故に遭うことのないように、「道路で遊ばない」「飛び出しをしない」「横断歩道を渡る」等を繰り返し指導していきます。



○ 午後4時には帰宅する

日没が早くなりました。午後5時になるともう真っ暗です。車を運転していても、歩行者を確認するのが難しくなりました。見づらいつことは、事故の危険性が高まっているということです。

遊びに夢中になり、午後4時を過ぎても遊んでいるという連絡が入っています。交通事故・不審者被害事故防止のため、生徒指導部を中心に「午後4時までには家に帰る」ことを指導しています。

交通ルールやきまりを「自分から」守ることができるように、生徒指導部を中心に繰り返し指導していきます。ご家庭でも、交通ルールを守ることの大切さを話題にさせていただきたいと思ひます。